財団インフォメーション

2019年度研究助成応募状況

2019年度（第53次）研究助成は、募集を1月10日（木）に締め切ったところ36件の応募がありました。応募の内訳は右表のとおりです。

本事業は“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”分野の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査のうえ、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

1）消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
2）広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
3）企業・組織のグローバル展開におけるコミュニケーション研究、マーケティング研究

2019年度の助成対象研究は、選考委員会を経て3月の理事会において決定されます。結果の発表は、4月上旬ごろ応募者宛てに直接通知します。

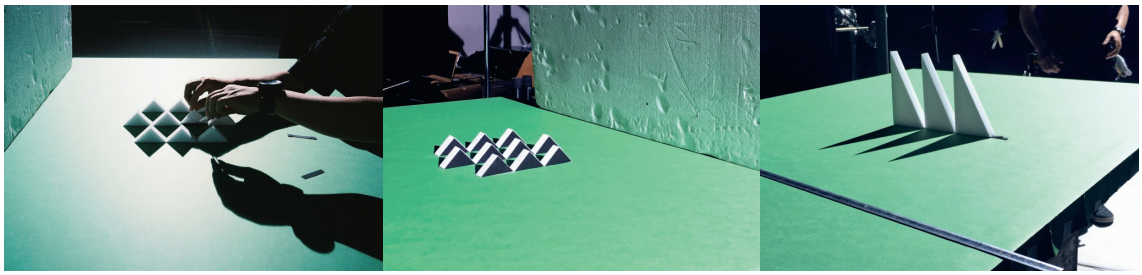
応募数（前年度比）

応募総数	部　門	応募数	助成期間別件数	課題別件数	
36件（-5件）	常勤研究者の部	26件（-5件）	単年研究 11件	自由課題	5件
				指定課題	6件
			継続研究 15件	自由課題	8件
				指定課題	7件
	大学院生の部	10件（±0件）	単年研究 8件	自由課題	6件
				指定課題	2件
			継続研究 2件	自由課題	1件
				指定課題	1件

指定課題の内訳

応募数	部　門	件数	指定課題別件数	
16件	常勤研究者の部	13件	指定課題①	7件
			指定課題②	2件
			指定課題③	4件
	大学院生の部	3件	指定課題①	2件
			指定課題②	1件
			指定課題③	0件

The Making of the Cover Design Vol.67
カバーデザインができるまで



編集後記

ある仏人哲学者が尊敬を込め「何でも“道”にしてしまうのが日本人」と評したが、極める一方で取りこぼしているものは多い。“As a Service”の時代、それを救うのが“遊び心”であり、“楽しい体験への変換”なのではないか。（傾）

スポーツにはあまり縁がありませんでしたが、今回の特集を通して、かつての厳しい体育の授業の記憶が薄れ、「スポーツは楽しい」というイメージへ転換できたことが、嬉しかったです。スポーツは想像以上に、社会的な存在だと感じました。（葡萄）

経済学、経営学、社会学、メディア、マーケティング、さまざまな領域をまたぐ点においてスポーツと広告は共通しています。一流の技で競い合うところも似ています。スポーツは記録を更新し、技術は磨かれていきます。広告はどうでしょうか。（ひろた）

AD STUDIES　2019年3月25日号　通巻67号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17　電通銀座ビル
TEL:03-3575-1384　FAX:03-5568-4528
URL:http://www.yhmf.jp

発行人　岩下 幹
編集長　布施博嗣
編集部　岩本紀子、沓掛涼香
編集協力　市川嘉彦、プレジデント社
表紙デザイン　八木義博＋畠山大介、中谷晴子（Creative Power Unit）
撮影　片村文人

本文デザイン　南 剛（中曽根デザイン）
校正　株式会社ヴェリタ
印刷・製本　大日本印刷株式会社

© 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。